



PTA会長挨拶

PTA会長

ながれ やすのり
流 靖則

皆様には、平素よりPTA活動にご理解ご協力頂き、ありがとうございます。

本年度もコロナ禍で例年のような活動が思う様に出来ずにはなりましたが、11月15日に開催された健康ロードレース大会では、生活環境保健委員を中心に豚汁を作って頂き、私自身もお手伝いとして参加させて頂きました。生徒さん達の「美味しかった」や「ありがとうございませう」等、言って貰えて炊き出しが出来て

良かったと思います。また、生徒さんや保護者、教職員、地域の方々が一緒になって笑っている姿を久々に見る事が出来て嬉しく思いました。

これからも生徒達が学校生活を過ごしやすい様に保護者、教職員、地域の皆様と連携しながら、また、江津高校ならではのアットホームな感じで、出来る範囲で出来る様に活動が継続出来れば良いと思います。

今後ともPTA活動へのご理解とご協力をお願い致します。



子供たちの笑顔のために
生活環境保健委員長

まつしま やすのり
松島 康訓

昨年度、一昨年度の卒業生から「ロードレース後の炊き出しが無かったのが残念だった」という意見を聴いていたため、何としても実施したいなという思いでいました。

その私の思いに、PTA会長をはじめ、生活環境保健委員の皆さん、先生方に賛同していただき、3年ぶりに健康ロードレース後の保護者の炊き出しを行うことができました。



食材は江津市産にとことんこだわり、サンプコごうつで「地元野菜」、舞の市で「まる姫ポーク」を用意。当日の朝、委員の皆さんで野菜と肉を切り、学校の大きな釜で240人前の豚汁を作りました。

子供たちの反応にドキドキしましたが、私たちの心配をよそに、「おかわりください」「おいしいかったです」「ごちそうさまでした」の言葉が聞けてほっと一安心しました。また、参加した委員の皆さんからは、「やってよかった」との意見が多く、私たち保護者も楽しめた1日でした。



学校ホームページで、ロードレースの様子を投稿しています。ぜひご覧ください。

江津高校での3年間
3年1組保護者

ちかしげ ひさひろ
近重 尚弘

江津高校3年生の皆様ご卒業おめでとうございます。あつという間の3年間。保護者として学校行事にはあまり関わられませんでした。が、本当に先生方をはじめ学校関係者の皆様にはお世話になりました。



話になりました。この3年間は入学から卒業までコロナ禍が続いており、常にマスクを着用してきましたね。部活動では様々な制限があり、修学旅行では同じ江津市内の風の国に宿泊したり、学校が長期休業になったりと通常では考えられないこ



星高 No.84

との連続でしたね。そんな中でもロードレース大会・修学旅行・体育祭・文化祭・球技大会など工夫を重ねて実施できたことは、あなたたちの思い出にしっかりと残っていることと思います。



これから卒業とともにそれぞれが旅立つこととなりますが、コロナ禍の苦勞・工夫が笑い話になる未来

が来ると思います。この3年間で学んだことをしっかりと活かしてこれから羽ばたいてください。そしていつか、江津の未来を担っていつてくれると嬉しく思います。

「夢」へ向かって

3年2組保護者

おがわ めぐみ
小川 恵

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業の時期を迎え、色々な思いが胸にこみ上げてきているのではないかと思います。

高校へ入学し、新しい仲間と共に勉強、部活、生活全てが新しい



事への挑戦でした。学ぶ教科も増え、部活動との両立は本当に大変だったと思います。それでも何事にも真面目に取り組む娘の姿は、自分が進みたい「夢」への強い思いが伝わるものでした。時には、気持ち折れる事や、私とぶつかり合う事が何度もありましたが、それも今とな

っては良い経験です。娘と一緒に私も親として成長させてもらいました。

3年間、コロナ禍での限られた活動ではありますが、積極的に地域の行事にも参加し、良い経験をさせて頂いたと思っております。先生方、地域



の方々、友達に支えられて充実した高校生活を送らせて頂いた

事に心より感謝申し上げます。これからも感謝の気持ちを忘れず、自分を信じて、「夢」への第一歩を踏み出してほしいと思います。応援しています。

GoTo 新たな舞台へ “進撃!”

3年3組保護者

たかはし あきら
高橋 陽

朝5時過ぎ、冬なら真っ暗な中、我が家の電気が灯り母は弁当作り、子は通学の準備が始まる。一般入試で江津高校へ行く、と息子が言った時は正直驚いた。何せ出雲からは電車で片道2時間弱である。本気で水球

星高 No.84

るのは難しいかも、と思ったが、熱意のある顧問の先生、苦楽を共にする素晴らしい仲間と出会うことができ、夏にはまるで白いブリーフでも履いているかのように真っ黒で、父も羨むほどの肉体を手に入れた。口



をするつもりだと感じた。遠距離通学をしながら水中の格闘技と呼ばれる水球をす



3年間、生徒一人一人に向き合って頂いた先生方に感謝し、御礼申し上げます。

には出さないが色々な苦労もあっただろう。災害で電車が停まった時は大田市から迎えの車の中で夕飯が続いたりもした。そしていよいよ卒業、3年生皆が様々な道へ進むことになるが、新たな舞台では非“進撃”してくれることを願う。

